

総合的な学習の時間 学習指導案

1. 学 年 小学校第3学年
2. 単元名 みんなにやさしい町について考えよう
3. 単元目標

○バリアフリーに関心を持ち、多様な人々が過ごしやすい社会のあり方を考える力を育てる。
○学校やまちにあるバリアフリーの工夫に気づき、どんな人のためのものかを考える。

4. 言語活動

バリアフリーについて学び、みんなにやさしい町について考え、「住みたいなこんなまち発表会」を開く。

5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公共施設やその設備が「バリアフリー」の視点で、誰でも安心して使えるように工夫してあることを理解し、学校や地域のバリアフリーを見つけることができる。	出会いや体験を通して、様々な人の立場になって想像を働かせ、日常生活を過ごす上での「バリア」や身近なバリアフリーの工夫について、気づいたことや自分にもできることを考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、学校や地域にあるバリアフリーの工夫やよさを大切にしようとしている。 ・自分にできることを考えようとしていたり、友だちと進んで学び合ったりしている。

6. 単元の指導と評価の計画 (全17時間) ◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
課題の設定	1 「みんなにやさしい町」とはどんな町か考える ・ワークシートを使ってバリアのある街の図を見ながら「みんなにやさしい町」について考える。		○	○	【思・判・表】 ・どんなことがバリアなのか考えている。(ワークシート・発言) 【主】 みんなにやさしい町について、人物が困っている様子を見ながら進んで考えている。(ワークシート・行動観察)
	2 目の不自由な方の話を聞く ・盲目の方から話を聞く。 3 盲導犬ユーザーさんの話を聞く 大事なことをメモしながら、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえながら聞き、自分の考えをもつ (国語の力 思A(1)エ)	○			【知・技】 目の不自由な人の生活について知り、盲導犬の役割を理解している。(ワークシート・行動観察)
情報の収集	4 身の回りの点字を振り返る ・点字の仕組みを学び、自分の名前を打ってみる体験をする	○			【知・技】 点字の仕組みや役割について理解している。(ワークシート)
	5 アイマスク体験をして、目の不自由な人について考える		◎		【思・判・表】 体験を通して当事者の立場になってみて感じたことや考えたことを自分の言葉で表現している。(ワークシ

						ト)
	6	NHK for school の耳の不自由な方の動画を見る。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #e1f5fe; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 大事なことをメモしながら、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえながら聞き、自分の考えをもつ (国語の力 思A (1) エ) </div>	○			【知・技】 目の不自由な人の生活について知り、生活の中での工夫やバリアになっているもの・ことについて理解している。 (ワークシート・行動観察)
	7	手話について知る ・手話と指文字について学び、使って表現してみる体験をする	○			【知・技】 手話の仕組みや役割について理解している。 (ワークシート)
	8 9	車いす、高齢者体験をする		◎		【思・判・表】 身体の不自由な人の移動について「バリア」になっていることについて考え、安全に移動するには周りの人はどうすればいいか考えている。(ワークシート)
	10 11	校内のバリアを見つけて、写真を撮る 校務員さんに「学校の中のバリアについて」話を聞く。	○		○	【主】 校内にあるバリアを進んで見つけようとしている。 (発言・行動観察) 【知・技】 校務員さんの工夫について話を聞いて理解する。 (ワークシート・行動観察)
	12	町のバリアを見つける ・南茨木駅に行き、バリアフリーの工夫を見つけて写真を撮る	○			【知・技】 町にあるバリアフリーの工夫を見つけることができる。 (ワークシート・行動観察)
整理・分析	13 本時	みんなにやさしい町について考えよう <div style="border: 1px solid black; background-color: #e1f5fe; padding: 5px; margin-top: 5px;"> たくさんあるバリアフリーの工夫を整理・分類し、共通点や相違点について気づいたり、自分の考えにいかしたりすることができる。(国語の力 知(2) アイ) </div>	○	◎		【知・技】 見つけたバリアフリーの工夫が誰にとってのどのような工夫か理解している。(カード) 【思・判・表】 みんなにとってやさしい町にしていくには、どのようなバリアフリーの工夫が必要なのか考えている。 (発言・振り返り)

まとめ・表現	14	これまで学んだことを「住みたいなこんなまち」として、発表形式にまとめる。	◎		◎	【知・技】 自分が伝えたい「やさしいまち」にするための工夫や自分ができることについて写真や文章でまとめることができる。(ワークシート)
	15	・図書資料から自分たちの生活の中にあつたらいいものを調べる。				【主】 グループの人と協力しながら、発表にまとめたり、発表練習に取り組んでいる。(発言・行動観察)
	16 17	「住みたいなこんなまち発表会」をクラスで開く。 発表会や単元全体のふりかえりをする。		◎	◎	【思・表・判】 友だちの発表を聞いて、様々な人にとって、住みやすい町について考えている。(ワークシート) 【主】 発表や単元のふりかえりを通して、これからの自分の様々な立場の人との関わり方に生かそうとしている。(ワークシート)

7. 本時について (本時12 / 17時)

(1) 目標

自分たちが見つけた身近なバリアフリーの工夫を、使う人や目的に着目して整理し、みんなが住みやすい町にしていくためには、どのような工夫が必要か考えることができる。

(2) 本時の評価規準

バリアフリーの工夫について、使う人の立場や目的に着目して、天王のまちで大切にしたいものについて考えることができる。**【思考力・判断力・表現力】**

(3) UDの視点

【共有化】

バリアフリーの事例を写真カードや実物の図で視覚的に提示し、児童がイメージを共有しながら学習できるようにする。

【スパイラル化】

これまでの授業で扱ってきたバリアフリーの設備や困りごとに関する学習をふまえて、分類活動に取り組むことで、知識と思考を関連づけて深められるようにする。

(4) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	1. 前時までのふりかえりをする。 ・身近にあるバリアについて確認する。 ・これまでの活動を写真でふり返る。	・前時までの学習と活動で見つけたバリアについて写真を用いて確認できるようにする。	
3分	2. 本時の学習課題を確認する。 ・バリアに対してのバリアフリーがあることを確認する。	・バリアフリーの例を出して、どういう人への「やさしい」かを考え、これからの活動のイメージを持たせる。	

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ㊦ななかま分けをして、町のくふうについて考えよう。 </div>		
5分	3. オクリンクプラスを起動して、それぞれのバリアフリーを分類する。 ・「目が不自由な人」「耳が不自由な人」「体が不自由な人（車イスの人）」「その他（妊婦、お年寄りなど）」の4つの分類を行う。	・国語の学習で扱ったXチャートの経験をもとに、理由を考えながら分類することを確認する。【スパイラル化】 ・ペアで考えることで、自信がない児童も安心して活動できるようにする。【共有化】
5分 10分	4. 交流する。 ・ペアと交流する。 ・全体で交流する。	・交流の進め方を例示する。 ・各ペアを回り、交流の様子を見守る。 ・全体交流は、バリアフリーを一つ取り上げて、どの位置にどういう理由で分類したのかを発表する。 ・バリアフリーによって「やさしいまち」づくりがされていることを捉える。
10分	5. 天王のまちにもあったらいいと思うくふうについて話し合う。	・理由についても聞き、どんなまちにしていきたいのか児童の思いを引き出す。
7分	6. 次時からの学習の流れを確認し、学習をふり返る。	・本時で分類したグループに別れてそれぞれ学習のまとめを行っていくことを確認する。

【思・判・表】
◎分類してみて分かったことや大切にしたいものについて考えている。
（ワークシート・発言）

(5) 本時における具体的な子どもの状況（※本時の評価規準に関わる場面において）

おむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）への支援
バリアフリーの工夫について、使う人の立場や目的について考え、天王のまちで大切にしたいものについて、考えることができている。	具体的なバリアフリーの工夫を例にあげて提示し、一緒に立場や目的について考え、大切にしたいものを選べるようにする。